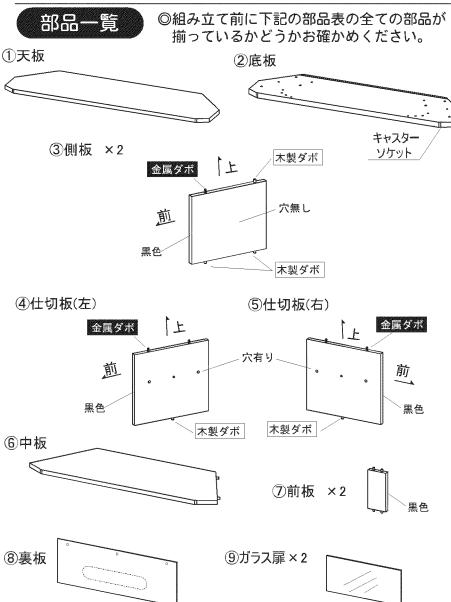


Swing 薄型テレビスタンド AS-CN1000-B

組立説明書



No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
⑩		ラッパネジ	8	⑪		キャスタートレイ	2
⑪		回転ピン(A)	2	⑫		マグネットラッチ(W)	1
⑫		回転ピン(B)	2	⑬		マグネットラッチ用取付けねじ	2
⑯		プレート	2	⑰		転倒防止ロープ	1
⑭		固定ねじ	3	⑮		ワッシャー	2
⑮		キャスター(シルバー)	2	⑯		転倒防止ロープ用取付けねじ	1
⑯		キャスター(ブラック)	2				

◆ご用意の道具
 プラスドライバー

取扱い上のご注意

- 直射日光にあてたり、ストーブのそばにおくと光や熱により変色、変形することがありますのでご注意ください。
- この製品にセロテープ、ラベル等を貼らないでください。
(はがすときに表面の化粧面がはがれる場合があります。)

お手入れのしかた

- 汚れをとるときは、乾いた布でふいてください。汚れのひどい時は、中性洗剤をしみ込ませた布をかたくこぼったもの、又は家庭用クリーナーで汚れを落としてから、乾いた布でふいてください。
- ベンジ、シンナーの使用は、変色や色ハゲの原因になりますのでおやめください。(化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きにしたがってください。)

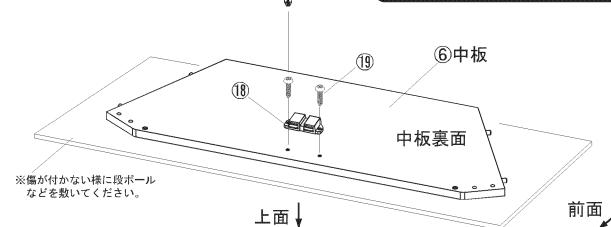
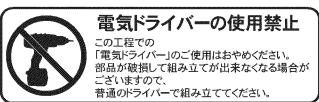
お買いあげいただきありがとうございます。組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

朝日本材加工株式会社
〒440-0071 愛知県豊橋市北島町字北島87番地 TEL (0532)53-3338
※住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

1 中板へ、マグネットラッチの取り付け

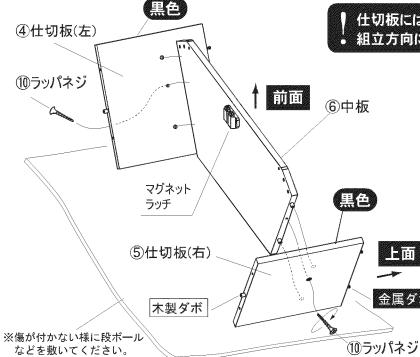


過度に強い力で締め付けると
ネジが空回りし、固定できなくなりますので、ご注意ください。



2 中板と仕切板(右),(左)の組み立て

! 仕切板には上下前後があります。
組立方向にご注意ください。



3 天板と仕切板、側板の組み立て

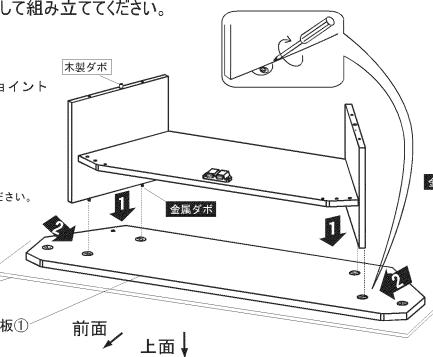
上下向きに注意して組み立ててください。

手順

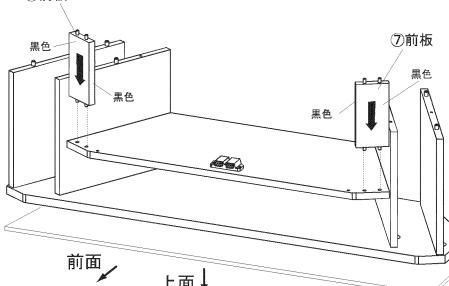
- 仕切板(右), (左)を天板のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようになじきり差し込む。
- プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。

側板、仕切板(右), (左)を上から
なじきりと押さえて、組み立ててください。
※押さえが不十分だとジョイントを
ロック出来ない場合があります。
うまくロックできない場合は、
一度ドライバーで、↓に向けて
最初からやり直してください。

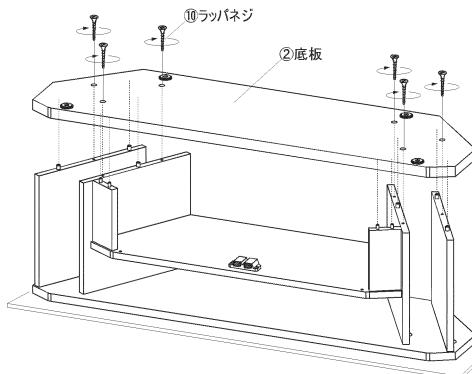
※傷が付かない様に段ボールなどを敷いてください。



4 前板の組み立て

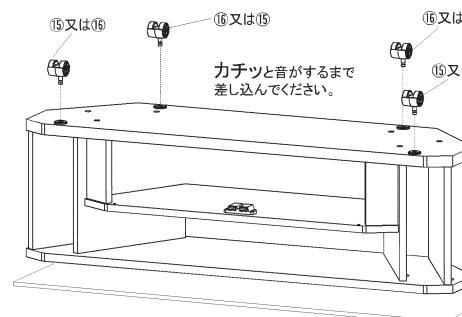


5 底板の組み立て



6 キャスターの取り付け

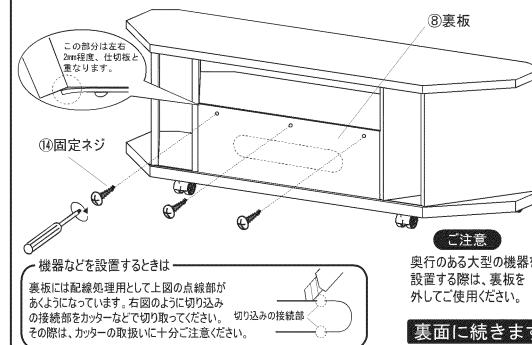
※キャスターは、シルバーとブラックの2色(各2個)から
お好みで取り付けてください。



7 裏板の組み立て

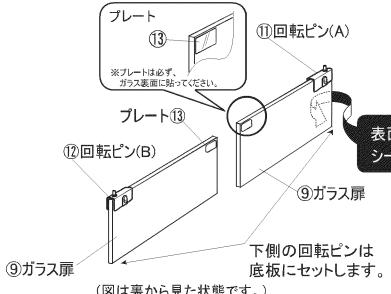
手順

- 本体をゆっくりと起こしてから底板ミゾに合わせて裏板を差し込みます。
(裏板は黒の面が内側です。)
- プラスドライバーを用いて固定ねじで3ヶ所締付けます。

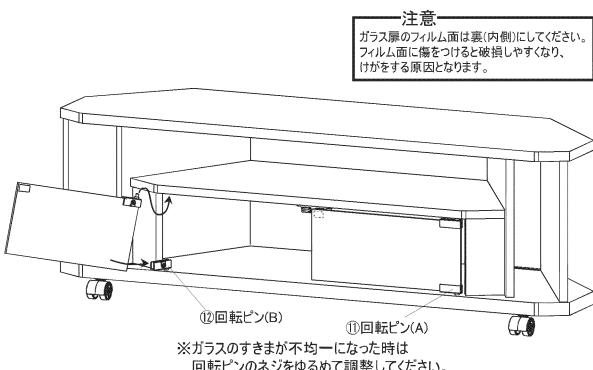


8 ガラス扉の組み立て

ガラス扉を図のように2枚セットし、取り付けてください。



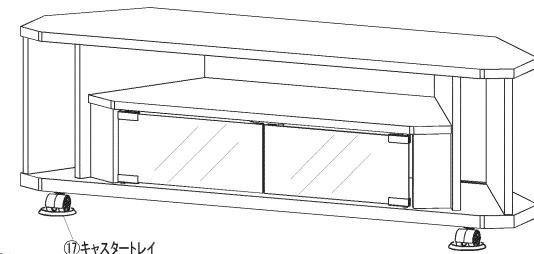
下側の回転ピンは
底板にセットします。
(図は裏から見た状態です。)



注意
ガラス扉のフィルム面は裏(内側)にしてください。
フィルム面に傷をつけると破損しやすくなり、
けがをする原因となります。

9 完成

【耐荷重】
天板: 20kg以下
棚板: 10kg以下
底板: 10kg以下
総耐荷重: 40kg以下
*この範囲内でお使いください。



※移動される時以外は、必ず
キャスターを外してお使いください。

ありがとうございました。

テレビ転倒防止(前面方向)についてお願い

テレビにお子様が登ったり、揺すったり、押したりされるとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

テレビの転倒防止処置についてはテレビ付属の転倒防止用部品に対応出来る場合もございます。
テレビの取扱説明書をご参考の上、テレビ付属の転倒防止用部品かAVラック付属の転倒防止用部品
のどちらかを選択してお取付けください。

【テレビの形状により下図の様にお取付けできないものございますので、ご了承ください】



手順 1

テレビ本体のねじまたは、テレビに付属されて
いる転倒防止用金具(固定ねじ・クランプ等)
にロープをかけます。

※取付穴は壁掛け金具取付穴などを使用します。

〈テレビ本体のねじの場合〉 〈クランプの場合〉



上図の様にロープを結んで取付けをします。
※必要に応じて21 ワッシャーをご使用ください。

手順 3

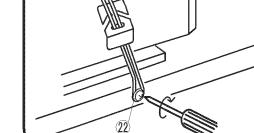
片側と同様にロープを
取付けます。

重要!!!

テレビ内部やコンセントに入らないよう
あまたのロープは巻き付けるまたはテー
ブなどで止めてください。

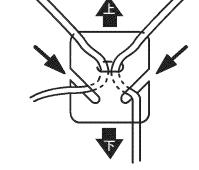
手順 2

ロープが輪になっている部分を
団の様に転倒防止ロープ用ネジで
天板に固定をします。
ネジは完全に締めないでください。



手順 4

ロープがY字形に取付けが出来たらプレートを団の向きに
し、上に引き上げてロープを張ります。ロープが張った
状態でプレートのミゾにロープを引っ掛けたまま固定します。
最後に手順2の転倒防止ロープ用ネジをしっかりと締付け
ください。



※注意
ロープを張りすぎるとテレビが転倒する恐れがありますのでご注意ください。

使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置し
お使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読み
になり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定
される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■警告

■ テレビやAVラックにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください
テレビが転倒したり、機器が落したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 振動のある場所に置かないでください
振動でテレビが転倒したり機器が落しきるの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。

■ 部品を改造しないでください

AVラックの強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

■ 注意

■ 薄型テレビ以外のものを載せないでください

本製品は薄型テレビを載せる専用AVラックです。

その他のものや重いものを載せないでください。

■ 高温・多湿の場所に置かないでください

直射日光やストーブの熱が直射ある場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。

■ 移動・設置において

● 移動されるときは接続している機器を取り外してから行ってください。
絶対に引いてしまうとけがの原因となります。

● 移動させた後には、少しの間は動きが笨重(カクカク)しない確認をしてください。

ガタツキがあると変形・倒壊する原因となります。

● キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある
所は上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらか
い場合、キャスターの移動音が気になります。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には

設置しないでください

さびや故障・変形の原因となります。

■ 転倒防止の処置を行ってください

転倒防止の処置を行わないと、テレビが倒れしがのが原因となることが
あります。必ずにして市販の転倒防止金具をご使用ください。

*付属している転倒防止ロープ(前面方向)は地震等の揺れに伴ううねりを最小限に
食い止めるのが目的であり、万一お客様や家族等に障害が生じた場合、一切の損害
に責任をお負担するものではありません。

■ 放熱を妨げないでください

通気孔をふさぐと内部の熱がこもり、火災の原因となることがあります。
必ず開けたままでください。(10cm以上の間隔をあける)

■ 固定用ネジ・ショウパンなどが緩んだまま使用しないで
ください

变形をしてテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

